

○ 令和5年3月に策定した「第4次千葉県青少年総合プラン」(第4次プラン)における令和5年度末時点での指標の達成状況について及び重点事業の進捗状況について確認設定した29の指標の進捗状況について確認を行うと共に、重点事業32事業について令和5年度の事業の事業の成果と課題・問題点、それらを踏まえた今後の方向性についてとりまとめました(資料1参照)。

第4次プランにおける指標の達成状況について(資料8参照)

4つの柱	達成	未達成			計
		改善傾向	横ばい	悪化傾向	
I 子ども・若者の健やかな成長と社会参画の促進	3	5	3	0	11
II 様々な状況下にある子ども・若者への支援と非行・犯罪等被害の防止	5	0	0	2	7
III 創造的な未来を切り拓く子ども・若者の応援	0	1	1	1	3
IV 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり	4	3	0	0	7
計	12	9	4	3	28※

※29指標の内、里親等委託率は実績判明が令和6年11月頃のため含めていない。

《目標の達成状況》

- ・達成… 目標達成
- ・未達成…改善傾向(計画策定時より上向き)
- 横ばい(計画策定時と変動なし)
- 悪化傾向(計画策定時より下向き)

「柱I 子ども・若者の健やかな成長と社会参画の促進」

【目安値達成・・・3指標】

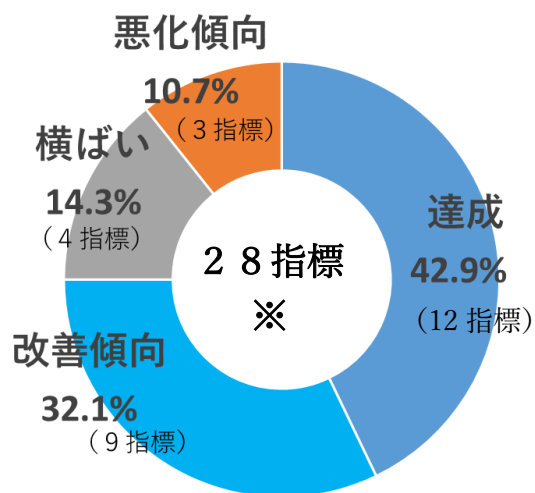
- ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合
- ・職場体験・インターンシップを実施している公立高校の割合

【目安値未達成(改善傾向)・・・5指標】

- ・授業で、話し合いがしっかりとできていると考えている児童生徒の割合
- ・組織的・継続的な研修を行っている学校の割合
- ・児童生徒のICT活用を指導できる教員の割合
- ・幼・小・中・高等学校において作成した「個別の教育支援計画」を学年間、他校種への引継資料として活用した割合
- ・幼・小・中・高等学校において作成した「個別の指導計画」を学年間、他校種への引継資料として活用した割合

【目安値未達成(横ばい)・・・3指標】

- ・朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合
- ・小学校における新体力テストの平均点
- ・全国学力・学習状況調査における平均正答率



「柱Ⅱ 様々な状況下にある子ども・若者への支援と非行・犯罪等被害の防止」

【目安値達成…5指標】

- ・教育改革推進事業によりスクールカウンセラー（SC）を設置する学校数
- ・スクールカウンセラー（SC）及びスクールソーシャルワーカー（SSW）の年間配置時間総数
- ・本県のいじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合
- ・短期入所事業所数（障害のある子どもを受け入れる事業所）
- ・スクールサポーターが訪問した中学校の割合

【目安値未達成（悪化傾向）…2指標】

- ・学校内外の機関等で相談を受けていない不登校児童生徒の割合
- ・生活保護を受けている子どもの高等学校等進学率

「柱Ⅲ 創造的な未来を切り拓く子ども・若者の応援」

【目安値未達成（改善傾向）…1指標】

- ・生徒の卒業段階における英語力（中学生：CEFR A1レベル、高校生：CEFR A2レベル）

【目安値未達成（横ばい）…1指標】

- ・国体入賞

【目安値未達成（悪化傾向）…1指標】

- ・新規就農者数

「柱Ⅳ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり」

【目安値達成…4指標】

- ・青少年相談員の定員に対する充足率
- ・青少年相談員事業への青少年の参加者数
- ・児童生徒の登下校時における交通事故死傷者数
- ・地域子育て支援拠点の数

【目安値見達成（改善傾向）…3指標】

- ・コミュニティ・スクールを導入した学校の割合
- ・小中学生の保護者向けにインターネット適正利用啓発講演を実施している市町村数
- ・保育所等の待機児童数

- 第4次プランの29指標の令和5年度における達成状況は、実績が未判明の1指標を除き、12指標で目安値を達成し、9指標で改善傾向、4指標で横ばい、3指標で悪化傾向という結果となりました。

達成及び改善傾向にある指標は、合わせて21指標（75%）となり、概ね順調に推移しています。その要因としては、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類感染症に移行したことに伴い、子ども・若者の生活が感染症拡大前の生活に戻りつつあり、対面による実施が必要な事業等が感染症の拡大していた時期と比べ、円滑に進められるようになってきていることが考えられます。

- 引き続き、各指標の要因分析及び事業の課題等を踏まえ、第4次プランの目標達成に向け、施策の改善を図りながら、効果的に各種事業に取り組んでまいります。